



## 親子防災ワークショップ 親 子で楽しみながら身に付ける防災術



親子防災ワークショップが、7月29日から8月11日までの全4回の日程で開催されました。いつどこで発生するかわからない災害に備えるため、親子で楽しみながら防災術を学ぶことが目的。整理収納アドバイザーの鈴木あいかさんを講師に招いた「ダンボールでトイレを作ってみよう!」「バックッキングにチャレンジ!」や、江崎グリコ株式会社による「災害食を試食してみよう!」、防災士の宇佐美竜一さんからテントの設営方法を学ぶ「防災アウトドア術」の4つの講座に、市内在住の親子延べ84人が参加しました。参加者は、災害に対して自分の命を守る「自助」の意識を高めました。

1カッターでトイレの形を作る 2完成したトイレで吸水実験 34ビニール袋に材料を入れて調理する 5災害食を紹介 6災害食を食べて思わずにっこり 78親子で協力してテントを設営

## 冷 みなみやまわくわくキッズ たいプールに大はしゃぎ

7月30日、小笠南地区コミュニティセンターで「芝生で水遊び わくわくキッズ」が実施されました。コロナ禍でイベントの中止や移動の自粛が相次ぐ中、子どもたちに夏らしい体験をしてもらいたいと、みなみやまコミュニティ協議会が企画。市内の親子およそ40人が、青空の下、広い芝生広場に用意された4槽のプールで水遊びを楽しみました。水鉄砲を撃ち合ったり、保護者めがけて水を掛けたり、水風船を投げ合ったりと、子どもたちは終始笑顔で大はしゃぎしました。



▲大きなプールで思いきり水を掛け合う親子

## 楽 キクルデツクルの夏休み しい体験講座



7月30日、プラザきくで市内講師による市民団体「キクルデツクル」が8つの体験講座を開催し、およそ90人がワークショップを楽しみました。「ドローン入門」では、赤堀和彦さんが講師となり、ドローンの基礎知識を学ぶ講座と操作体験が行われました。「ペーパークラフト」では、講師の塩澤恵美さんから教わりながら、かわいいフレームを作成しました。また、他の団体も協力し、親子ピラティス講座と絵本の読み聞かせも行われ、多くの親子連れで賑わいました。



1ドローンの操縦を体験 2カラフルな台紙を並べる